

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	687	配信日	2026/5/18	ジャンル	商品知識
テーマ	「エルメス」 シェーンヌダンクル				

本日は二次流通市場でも記録的な高値が続いているエルメスの「シェーンヌ・ダンクル」について、お客様への権威付けや買取提案に活かせるよう、その特徴となぜ定価超えの相場が続いているのかを解説します。

1. シェーンヌ・ダンクルの際立つ特徴

・不変のデザイン美（アンカーチェーン）

1938年に当時の社長ロベール・デュマが、船の錨（いかり）のチェーンから着想を得て誕生しました。80年以上デザインが変わらない名品として、世代を超えて愛されています。

・職人による手作業のクオリティ

エルメスのジュエリーは、熟練の職人が一つひとつのコマを繋ぎ、丁寧に磨き上げます。特にシルバーモデル（SV925）はエルメス独自の高純度な輝きを放ち、使い込むほどに風合いが増すのが特徴です。

・多彩なサイズ展開とスタイル

コマの大きさにより「PPM、PM、MM、GM、TGM」と5段階のサイズがあり、性別や体格を問わず、パーソナライズされた着け心地を楽しめる点が近年のジェンダーレスファッションの潮流に合致しています。



2. なぜ買取相場が高額なのか（希少性）

・正規店での「予約不可・入荷待ち」状態

世界的な需要増に対し供給が全く追いついておらず、ブティックに行っても実物を見ることすら困難です。予約すら受け付けていない店舗も多く、手に入れるまでに数年待つケースも珍しくありません。

・二次流通市場でのプレミアム価格

「定価を払ってでも今すぐ欲しい」という層が世界中に存在するため、中古市場では未使用品が定価を超える金額で取引される「逆転現象」が常態化しています。

・円安と世界的な価格改定

エルメスは定期的に価格改定（値上げ）を行っており、加えて円安の影響で国内の販売価格が上昇しています。これに連動して、過去に購入した中古品の買取価格も大幅に跳ね上がっています。

お客様に使えるトーク

「いまエルメスのシェーンヌ・ダンクルは、世界的に注文が殺到しており、正規店では数年待ちと言われるほど入手困難な状態が続いています。そのため、二次流通市場での価値が非常に高まっております。しかし、今後生産体制が整ったり、為替が円高に振れたりすれば、この高相場が落ち着く可能性は高いです。『最高値圏』にある今のタイミングで手放すのは、最もベストなタイミングだと思います。」